学校番号	２１９

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治･経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「政治･経済」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「公共」で学習した知識・概念および視点や方法を基盤として、日本や世界の政治と経済のしくみについて俯瞰的に、より深く学びます。現代の政治や経済のしくみを理解するためには、教科書に記載されている基本的な用語の正しい意味を理解することが重要です。それに加えて、現実の地域社会、国内、国外で起こっている様々なできごとに関心を持つようにしましょう。情報の入手はインターネットのみに頼らず、テレビ、新聞、書籍等から広く集めることも心がけましょう。そして、自分の意見をしっかりと持った上で、他の人と議論し、より良い社会のあり方を共に見つけていく態度を身に着けましょう。

2　学習の到達目標

1. 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。
2. 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。
3. よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに,諸資料から,社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり，表現したりしている。	○よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代日本の経済	１節　現代の資本主義経済 ２節　現代経済のしくみ ３節　日本経済の発展と現状 ４節　福祉社会と日本経済の課題	a:以下の諸項目について理解できているか 希少性と価格、資本主義経済と社会主義経済、家計，企業，政府が行う経済活動、企業の活動や，株式会社の特徴、需要曲線と供給曲線による価格の決定、経済活動の規模や変化をとらえる指標、景気変動のしくみ、金融の役割や，金融政策の手段、財政の役割や，公平な税制のあり方、戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化、バブル経済崩壊後の日本経済の状況や，2000 年代以降の経済政策、公害・農業・中小企業・情報化・消費者・労働・社会保障に関連する課題 b:以下の諸項目について、多面的・多角的に考察し、表現できているか 今日の資本主義経済の課題、現代の企業に求められているもの、市場は必ずしも万能ではないといわれる理由、日本の財政の課題、所得格差を解消するには何が重要か c:以下の諸項目について、主体的に追究し、課題を見出しているか 自分のライフプランを立て，それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か、持続可能な社会の形成のために自分たちにできることは何か、契約を結ぶ際に気をつけるべきことや，消費者トラブルにあった際の対応	定期考査	レポート、スライド、課題発表	レポート、スライド、課題発表
	現代日本の諸課題		b:クラスを７班に分け、以下の７つのテーマから１つを選んでスライドを作成し、発表を行う。 多面的・多角的に考察し、表現できているか ①少子高齢化における社会保障②地域社会の活性化③多様な働き方・生き方の実現④中小企業の意義と課題⑤日本の財政の健全化⑥持続可能な食料・農業の実現⑦防災と安全・安心な社会の実現		スライド、課題発表	スライド、課題発表

2	現代の国際政治 現代の国際経済 国際社会の諸課題	１節　国際政治のしくみ ２節　複雑化する国際政治と日本 １節　国民経済と国際経済 ２節　世界経済の現状と課題	a:以下の諸項目について理解できているか 国際社会と国際法、国際連合の役割と課題、戦後国際関係の展開、冷戦後の国際関係と日本 b:以下の諸項目について、多面的・多角的に考察し、表現できているか 集団安全保障のしくみ、平和と安全を維持するための国際連合の取り組み、冷戦終結後の国際関係の変化 c:以下の諸項目について、主体的に追究し、課題を見出しているか 日本は唯一の核兵器被爆国として，軍縮に向けてどのように取り組むべきか、日本の難民受け入れはどうあるべきか a:以下の諸項目について理解できているか 貿易の意義、国際収支、国際通貨体制の変遷、南北間の格差の背景にある歴史的経緯、経済のグローバル化の進展 b:以下の諸項目について、多面的・多角的に考察し、表現できているか 為替レートがどのような要因によって変動するか、地域経済統合や FTA・EPA が自由貿易の進展にどのような影響を与えるか c:以下の諸項目について、主体的に追究し、課題を見出しているか 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・貧困・感染症の問題 b:個人で、以下の６つのテーマから１つを選んでレポートを作成する。 多面的・多角的に考察し、表現できているか ①グローバル化にともなう社会変容②地球環境と資源・エネルギー問題③国際的な経済格差の是正④イノベーションの促進と成長市場⑤民族問題と紛争の解決⑥持続可能な社会の実現	定期考査	レポート、スライド、課題発表 レポート	レポート、スライド、課題発表 レポート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3	現代日本の政治	１節　民主政治の基本原理 ２節　日本国憲法の基本原理 ３節　日本の政治機構 ４節　現代政治の特質と課題	a:以下の諸項目について理解できているか 政治の役割と民主政治への道のり、「法の支配」の考え方と立憲主義、基本的人権の確立と内容の変化、直接民主制と間接民主制の違い、世界各国の政治機構の特徴、大日本帝国憲法と日本国憲法の違い、衆議院と参議院の違いと衆議院の優越、内閣と国会の関係、衆議院の解散や総辞職などのしくみ、日本の最高裁判所が「憲法の番人」とされる理由、地方自治の議決機関と執行機関の関係、戦後日本の政党政治の変遷、衆議院と参議院の選挙制度の違いと課題、選挙権年齢引き下げの背景と選挙権行使の意味 b:以下の諸項目について、多面的・多角的に考察し、表現できているか 人権の国際化のなかで，日本の人権保障はどうあるべきか、ポピュリズムや「多数者の専制」の考え方を踏まえ，これからの民主主義はどうあるべきか、憲法改正に関する議論について、「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか、平和主義と国際協調主義をどのように両立すればよいか、日本の行政にはどのような課題があり，どのように解決すべきか、地方財政が抱える課題をどのように解決すべきか、「55 年体制」や金権政治の問題を踏まえ，細川政権下の政治改革の意義と課題について、日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ，自分が賛同する政治的立場について c:以下の諸項目について、主体的に追究し、課題を見出しているか 法が自分の生活にどのように関係しているか、成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか、国会における男女平等をどのように実現するか、日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか	定期考査	レポート、スライド、課題発表	レポート、スライド、課題発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度